

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成30年4月】

■調査概要（データ対象期間：平成30年4月1日～4月30日）

- 調査期間：平成30年5月7日～平成30年5月21日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業22企業、製造業23企業、卸売業13企業、小売業28企業  
飲食業16企業、サービス業49企業（運輸、不動産仲介業を含む）  
<合計151企業>
- 調査項目：4月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価  
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

### 1. 業況判断

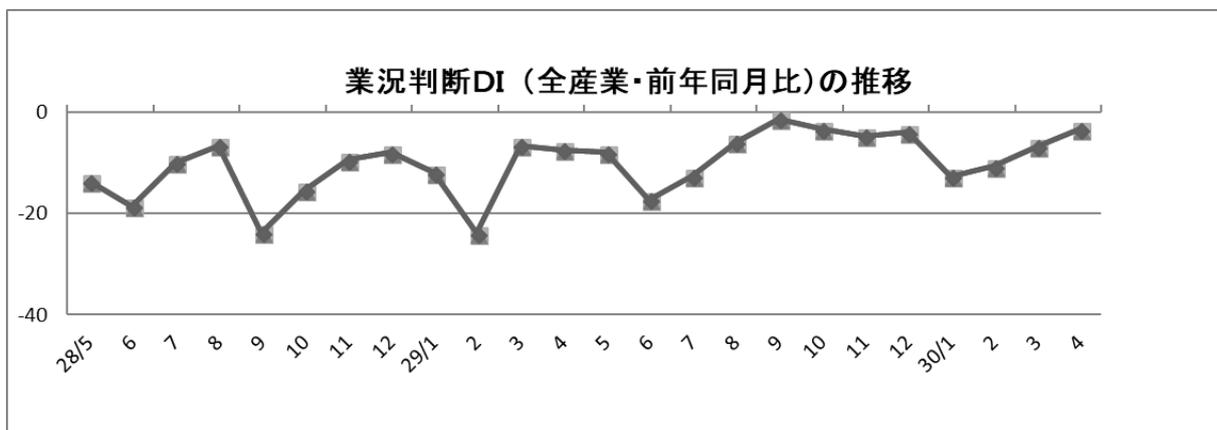
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲6.8）よりマイナス幅が3.5ポイント縮小し、▲3.3となった。業種別では、製造業、サービス業がマイナスからプラスに転じ、建設業はプラスからマイナスに転じた。小売業、卸売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲12.1）よりマイナス幅が4.8ポイント縮小し、▲7.3となった。業種別では、サービス業が0からプラスになり、建設業、卸売業、小売業、製造業はマイナス幅が縮小し、飲食業はマイナス幅が拡大した。

#### 業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	16.6 (15.2)	63.5 (62.7)	19.9 (22.0)	▲ 3.3 ↗ (▲ 6.8)	17.9 (15.2)	56.9 (57.4)	25.2 (27.3)	▲ 7.3 ↗ (▲ 12.1)
建設業	4.5 (16.7)	81.9 (72.2)	13.6 (11.1)	▲ 9.1 ↘ (5.6)	9.1 (0.0)	68.2 (77.8)	22.7 (22.2)	▲ 13.6 ↗ (▲ 22.2)
製造業	30.4 (19.0)	47.9 (47.7)	21.7 (33.3)	8.7 ↗ (▲ 14.3)	30.4 (28.6)	34.8 (38.1)	34.8 (33.3)	▲ 4.4 ↗ (▲ 4.7)
卸売業	15.4 (15.4)	53.8 (61.5)	30.8 (23.1)	▲ 15.4 ↘ (▲ 7.7)	15.4 (7.7)	53.8 (61.5)	30.8 (30.8)	▲ 15.4 ↗ (▲ 23.1)
小売業	7.1 (11.5)	67.9 (65.4)	25.0 (23.1)	▲ 17.9 ↘ (▲ 11.6)	7.1 (19.2)	64.3 (34.6)	28.6 (46.2)	▲ 21.5 ↗ (▲ 27.0)
飲食業	6.3 (16.7)	62.4 (55.5)	31.3 (27.8)	▲ 25.0 ↘ (▲ 11.1)	12.5 (16.7)	62.5 (61.1)	25.0 (22.2)	▲ 12.5 ↘ (▲ 5.5)
サービス業	24.5 (13.5)	63.3 (70.3)	12.2 (16.2)	12.3 ↗ (▲ 2.7)	24.5 (13.5)	57.1 (73.0)	18.4 (13.5)	6.1 ↗ (0.0)

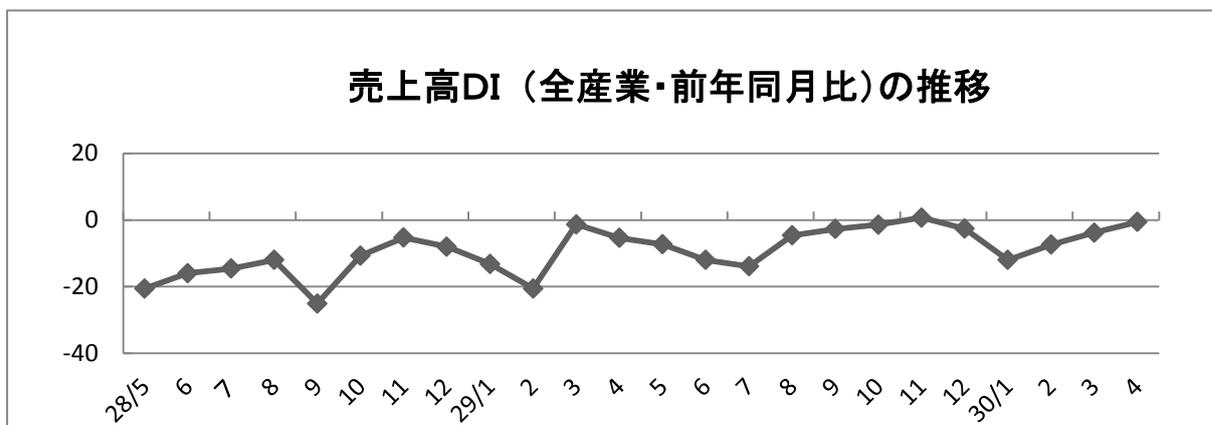
( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲3.8）よりマイナス幅が3.2ポイント縮小し、▲0.6となった。業種別に見ると、建設業はプラス幅が縮小し、製造業、サービス業はマイナスからプラスに転じた。卸売業はプラスからマイナスに転じた。小売業はマイナス幅が縮小し、飲食業はマイナス幅が拡大した。

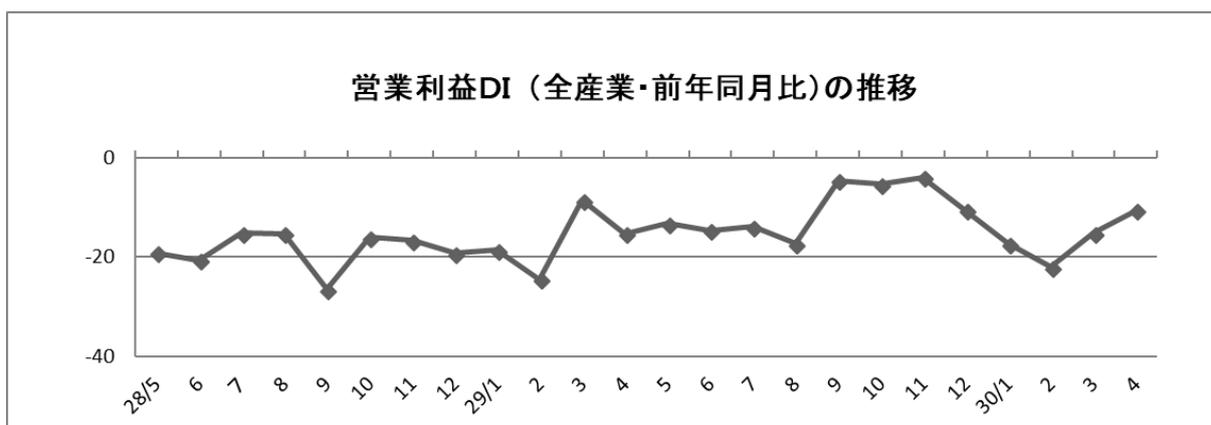


**【対前年同月比売上高業種別DIの推移】**

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
全 体	▲ 5.4	▲ 7.3	▲ 12.0	▲ 13.9	▲ 4.6	▲ 2.7	▲ 1.4	0.7	▲ 2.6	▲ 12.0	▲ 7.4	▲ 3.8	▲ 0.6
建 設 業	▲ 19.1	▲ 28.0	▲ 14.3	0.0	8.7	23.8	13.7	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6
製 造 業	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 31.8	8.7	5.2	▲ 4.5	0.0	▲ 13.7	▲ 4.3	▲ 14.3	▲ 14.3	8.7
卸 売 業	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0	20.0	0.0	13.4	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲ 15.4
小 売 業	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 15.2	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 20.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 11.5	▲ 10.7
飲 食 業	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 44.4	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 11.1	▲ 25.0
サービス業	▲ 4.6	▲ 5.0	0.0	2.4	▲ 22.5	▲ 4.2	4.9	0.0	▲ 2.5	▲ 9.5	0.0	▲ 2.7	10.2

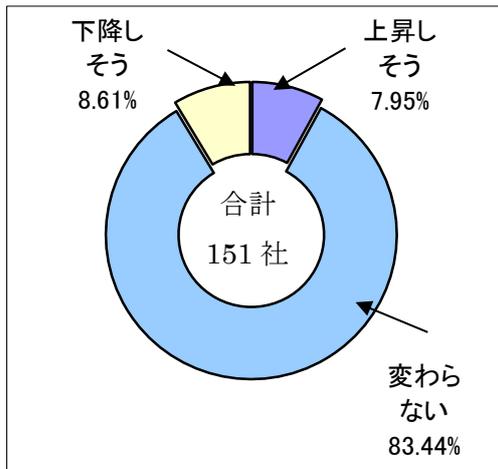
## 3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲15.1）よりマイナス幅が4.5ポイント縮小し、▲10.6となった。業種別に見るとサービス業はマイナスからプラスに転じた。製造業は0からマイナスになり、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小した。建設業、飲食業はマイナス幅が拡大した。



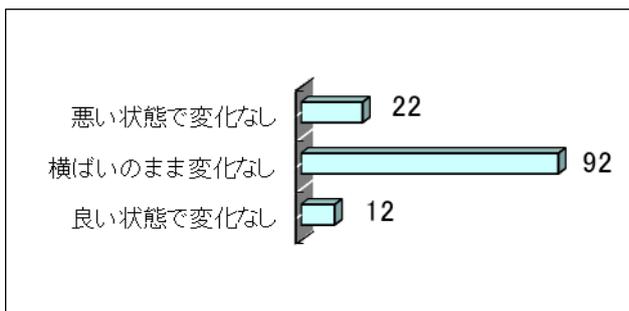
**【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】**

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
全 体	▲ 15.3	▲ 13.3	▲ 14.7	▲ 13.9	▲ 17.3	▲ 4.6	▲ 5.3	▲ 4.0	▲ 10.6	▲ 17.3	▲ 22.0	▲ 15.1	▲ 10.6
建 設 業	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 4.7	▲ 21.8	4.7	13.6	8.0	▲ 4.2	▲ 13.1	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 22.7
製 造 業	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 36.4	▲ 8.7	5.2	▲ 9.1	5.0	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 47.6	0.0	▲ 4.4
卸 売 業	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	0.0	0.0	▲ 37.5	▲ 23.1	▲ 15.4
小 売 業	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6	▲ 21.2	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.1	▲ 26.9	▲ 25.0
飲 食 業	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 22.2	▲ 31.2
サービス業	▲ 14.0	▲ 7.5	▲ 2.3	4.9	▲ 25.0	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 16.7	▲ 5.1	▲ 5.4	8.1



○平成30年5月～平成30年7月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.26ポイント減少し7.95%、「下降しそう」が0.40ポイント増加し8.61%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.5)、製造業(▲8.7)、卸売業(▲7.7)、小売業(▲3.6)、飲食業(▲6.2)、サービス業(6.1)であった。

➡「上昇しそう」では「今が悪すぎるので、今後は上昇するのではないかと思われるため」「東京五輪の開幕を控え、首都圏では物流倉庫、再開発物件等の計画があるため」(建設業)「新規品の立ち上げ及び流動があるため」(製造業)「歌舞伎があるため」「ゴールデンウィーク、修学旅行、夏休みなどで集客の見込みがあるため」(飲食業)「婚礼、一般宴会数が増えたことにより、上昇の予感がするため」「外国人の予約が益々増えているため」「4月から外国人客が増加傾向にあるため」「雇用情勢に大きな変化はなく、詳しい原因は不明だが、職業訓練受講者は増加しているため」「仕掛け中のプロジェクトについて、分割検収(請求)をするため」「仕入高は減らしたが、顧客販売ターゲット戦略を行うので売上は伸びると思われるため」「新学期と同時に習い事という動きが出そうなため」(サービス業)といった声が寄せられた。

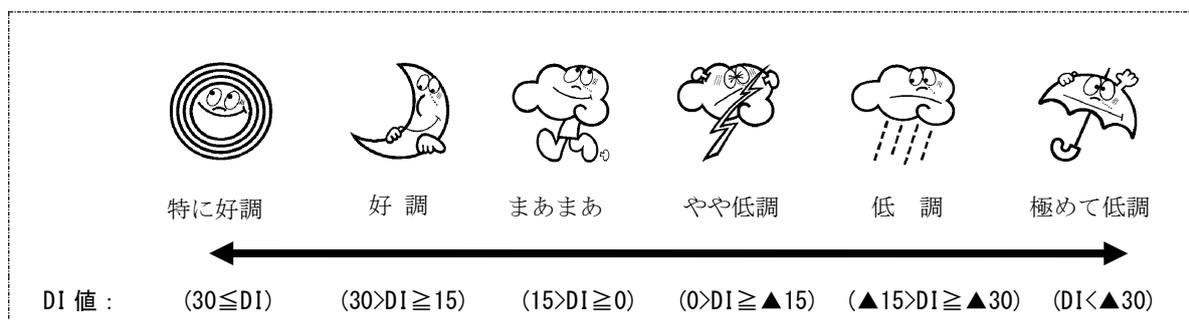


➡「変わらない」では、「来月以降の受注見込みが不安材料のため」(建設業)「消費が落ち着いてきているため」(製造業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「受注量が減少し、単価も低いため」(建設業)「3、4月が好調過ぎたので、下降すると思われるため」「先行きが不透明のため」(製造業)「今は受注等良い状態だが、今後は下がると予想されるため」(卸売業)「季節的な要因のため」(小売業)「客がイオンモールに行ってしまうため」「宴会の予約が少なくなる時期のため」(飲食業)「人手不足のため」「一次的に忙しかったため」「官庁からの仕事が8割を占めるので、4～7月は入札があまりないため」(サービス業)といった声が寄せられた。

# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
売上高	▲19.1	▲28.0	▲14.3	0.0	8.7	23.8	13.7	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6
受注量	▲38.1	▲40.0	▲33.4	0.0	▲8.7	9.6	18.2	4.0	12.5	▲8.7	19.1	▲9.5	▲4.5
受注単価	▲4.8	▲12.0	▲4.8	4.8	0.0	4.7	▲4.6	0.0	▲12.5	▲8.7	▲9.5	▲5.5	▲4.5
営業利益	▲33.3	▲32.0	▲28.6	▲4.7	▲21.8	4.7	13.6	8.0	▲4.2	▲13.1	▲14.3	▲22.2	▲22.7
見通し	0.0	16.0	9.5	14.2	4.4	0.0	▲4.5	4.0	0.0	8.7	14.3	0.0	4.5

## <経営者の目・見方・etc>

- 管工事
  - ・受注量は昨年に対して少し多いが、受注単価が上がらないため利益には反映されない。建設業の宿命かもしれないが、何とかしなければならない。
- 土木工事
  - ・街に出ると海外からの観光客も多く、活気が感じられる。しかし足元を見ると人口減少が続き、衰退感は否めない。
- 建築工事
  - ・4月になって特に受注が減り、工事内容も小口な案件が主になった。公共の工事に期待している。
- 建設
  - ・毎年のことではあるが、春先のこの時期は公共工事の発注も少なく、仕事の確保が難しい。
- 鉄工
  - ・鉄工業の需要は全体的に好調である。大半の製造業は繁忙期入りを迎えていると同業者からの声があった。
  - ・関東方面の五輪、再開発等の案件の発注で繁忙状況が続くと考えていたが、実際は工期のズレや人手不足による遅延により思惑とはズレが生じている。地元の案件も元々少ない時期のため、ここまでの業績は良くなかった。
  - ・今後はきちんと利益の取れる体制と案件の選別が必要であると考えている。

## 2. 製造業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヶ月
				
まあまあ	まあまあ	やや低調	やや低調	やや低調

(各項目別前年同月比)

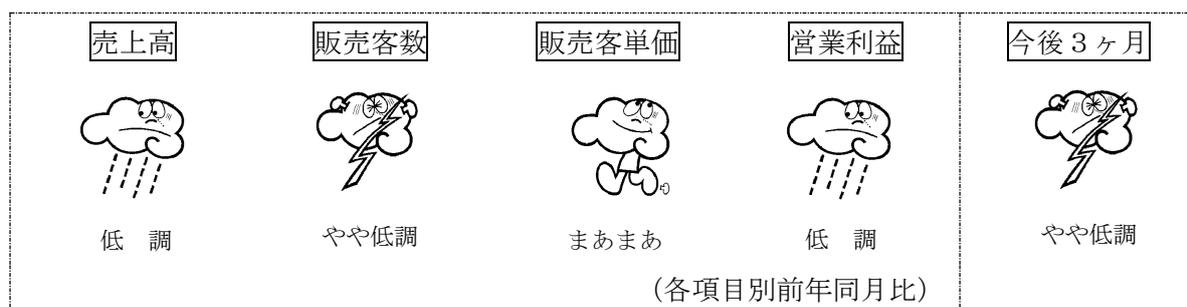
### 【項目別DIの推移】

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
売上高	16.7	▲9.1	0.0	▲31.8	8.7	5.2	▲4.5	0.0	▲13.7	▲4.3	▲14.3	▲14.3	8.7
受注量	4.2	▲18.2	0.0	▲27.3	4.3	15.8	▲9.1	0.0	▲13.6	▲8.7	▲14.3	▲9.5	8.7
受注単価	▲16.6	▲9.1	▲33.3	▲27.3	▲4.4	▲10.5	▲18.2	▲15.0	▲13.6	▲8.7	▲23.8	▲23.8	▲13.0
営業利益	▲4.1	▲9.1	▲4.7	▲36.4	▲8.7	5.2	▲9.1	5.0	▲4.6	▲4.4	▲47.6	0.0	▲4.4
見通し	▲4.2	▲4.5	▲4.7	▲4.5	0.0	▲5.3	0.0	▲5.0	▲9.1	8.7	9.5	▲14.3	▲8.7

### <経営者の目・見方・etc>

印刷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生年金基金解散による国庫返納負担金を背負い、デフレのままで地方印刷業にも同じ消費税増税が掛かるのかと心配である。</li> <li>・出版業界、夏物印刷は繁忙期が終わり、今月以降はやや動きが鈍い状況である。</li> </ul>
菓子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に気温の上昇が例年より早く、アイスクリーム、清涼飲料の売り上げが多くなる一方で、今月、来月の半生菓子の売り上げは厳しい状況である。</li> </ul>
金属塗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ようやく当社も景気が良くなって来たかなと思っていたら、来月はその反動で減少となる。また、アメリカのトランプ大統領の動きが心配である。</li> </ul>
酒類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客が少なかった。</li> </ul>

### 3. 卸売業



#### 【項目別DIの推移】

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0	20.0	0.0	13.4	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲ 15.4
販売客数	▲ 7.2	0.0	▲ 20.0	6.6	6.7	0.0	▲ 6.7	6.6	0.0	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 7.7
販売客単価	▲ 14.3	0.0	▲ 26.6	0.0	6.7	▲ 8.4	6.6	13.3	18.8	6.7	18.7	23.1	0.0
営業利益	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	0.0	0.0	▲ 37.5	▲ 23.1	▲ 15.4
見通し	7.1	8.3	▲ 6.7	▲ 13.3	6.7	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 6.3	0.0	▲ 7.7

#### <経営者の目・見方・e t c>

土産品

・春の観光シーズンを迎え、ようやくといった感じである。先月、今月の売上が低迷し厳しい状況だが、当社独自の新しい取組みに期待したい。金型の投資を増やし、新しい物を開発している。

製菓材料卸売

・厳しい状況が続いている。

機械工具

・上昇の気配なし。横ばいの傾向にある。

金属製品

・先行受注が続いているため、今年中は順調である。  
 ・年度明けは、工期の遅れ等により案件はある方だが、関東の案件がほとんどであり、地元の案件は少ない。鉄相場は不安定さが強まった。

## 4. 小売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
やや低調	やや低調	好調	低調	やや低調
(各項目別前年同月比)				

### 【項目別DIの推移】

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
売上高	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 15.2	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 20.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 11.5	▲ 10.7
販売客数	▲ 3.0	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 17.6	▲ 9.1	▲ 16.1	▲ 22.5	3.5	▲ 30.0	▲ 25.9	▲ 18.1	▲ 27.0	▲ 10.7
販売客単価	▲ 11.7	▲ 5.9	▲ 20.6	▲ 23.5	▲ 24.3	▲ 19.3	0.0	▲ 10.4	0.0	▲ 3.7	3.0	11.6	17.9
営業利益	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6	▲ 21.2	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.1	▲ 26.9	▲ 25.0
見通し	2.9	0.0	▲ 8.8	▲ 5.9	▲ 9.1	▲ 3.2	3.3	3.4	▲ 13.3	7.4	0.0	▲ 3.9	▲ 3.6

### <経営者の目・見方・e t c >

印章	・新しい施設、新しいお店が続々と出来ている反面、閉めてしまう老舗も少なくない。新規出店される方々には、街の後継者として商店街事業にも積極的に関わってほしいと願う。
自転車	・伊勢町にホテルの建設計画があるため、新しい駐車場を探している人がやってくる。
ガラスサッシ	・板ガラス、樹脂関係の材料代が一部15%前後値上がりするので、多少在庫を抱えざるを得なかった。原材料は上がるが、販売価格は上げられない苦しさがある。我が商店街においても撤退する飲食店が2軒、売上は落ちているが頑張っている食堂が1軒という状況。「来年は消費税が10%になり、さらに景気は悪くなることは目に見えている。」と語った店主もいた。
書籍、木のおもちゃ	・前半のゴールデンウィークは来客数も増えたが、今月のスタートは不振が続いた。名古屋の児童書専門店も3月末日で閉店し、書店業界は厳しい状況が続きそうだ。
観光物産	・人の流れが多くなった。外国人が増加している。ゴールデンウィークにより、ようやく活気が出てきた。
住宅機器	・見積もりが増えてきた。
ショッピングセンター	・ゴールデンウィーク前半は信毎メディアガーデンのオープンもあり、好調に業績が推移するものの、後半は暦の関係か街場の動員がやや少なく思えた。
パン	・先月で節目を迎え、事業再編を一段と進めなければならない状況である。しかし現段階では、具体的な販路が固まっておらず、利益計上までの売上確保ができていないのが現状である。
陶磁器	・松本城の桜が開花すると花見客で忙しくなるが、例年になく早い開花と見ごろの短さで売上の当てが外れた。この時期の欧米系の観光客の増加は松本城の桜の認知度の高まりの成果だと感じる。 ・月末に信毎メディアガーデンがオープンし、早速賑わっている。地元客にも観光客にも人気の施設になると感じる。
薬局	・今までになく、客層の5割が外国人客であった。

菓子

・4月は観光客が多少増えた。中町通りの人出はかつてないほどの通行客であったが、イオンモール手前の大橋通りでUターンして戻ってきている。

婦人服

・5月末のクラフトフェアに期待したい。  
・準備していたフェアが成功して、客単価アップに繋がった。  
・昨年の広告不足を反省し、タブロイド、リーフレットを発送したところ好評だった。6月にある歌舞伎公演も売上に繋がると期待している。

## 5. 飲食業



### 【項目別DIの推移】

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 44.4	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 11.1	▲ 25.0
販売客数	▲ 14.3	▲ 5.9	▲ 33.3	▲ 38.9	▲ 12.5	▲ 10.0	▲ 20.0	5.9	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 30.0	0.0	▲ 12.5
販売客単価	▲ 14.3	▲ 11.7	▲ 26.7	▲ 33.3	6.3	▲ 15.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 5.5	▲ 12.5
営業利益	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 22.2	▲ 31.2
見通し	14.3	0.0	6.7	▲ 5.6	▲ 6.2	0.0	▲ 5.0	5.9	▲ 17.6	25.0	5.0	5.5	▲ 6.2

### <経営者の目・見方・etc>

寿司

・歓迎会などの地元需要は例年通りの推移であったが、駅前を中心に観光需要が多かった月であった。また、葉野菜を中心とした青果の値動きが落ち着いたことに関しては安堵している。

・桜の開花が例年よりかなり早かった。この時期毎年行っているイベントの準備がしっかり整わないうちにお客様から「今年はまだ始めないのかい？」と声を掛けられた。思い切ってすぐに始めたところ好評で良かった。

そば

・先月下旬は初夏のような好天に恵まれ、例年より早く桜が満開になったが、一転して一番盛り上がる週末が冬に逆戻りした。月末の連休で賑わったものの、自然の変化には太刀打ちできない。

郷土料理

・僅かながら、上昇の傾向が続いている。

中華料理

・今月は店舗のメンテナンス中のため休業日が多かった。

ラーメン

・日、祝日の人の動向が気になる。約40年間営業しているが、駅周辺の人の流れに変化が生じているのが今後の課題である。

料理

・ようやく春になり、客の動きも良くなるかと期待したがまあまあであった。消費税の納税などやり繰りの厳しい月であった。

・季節の観光客の減少や仕入値上がりの対応、人手不足などの課題がある。

食堂

・今月になって客足が遠のいている。土日は相変わらず人出が多いが、平日は昼時でも閑散としている。イオンモールの影響が出てきたのか。昨年と比べて客数が2割ほど減少している。

## 6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ

(各項目別前年同月比)

### 【項目別DIの推移】

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 4.6	▲ 5.0	0.0	2.4	▲ 22.0	▲ 4.2	4.9	0.0	▲ 2.5	▲ 9.5	0.0	▲ 2.7	10.2
販売客数	0.0	▲ 7.5	▲ 2.3	▲ 2.5	▲ 24.4	0.0	0.0	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 23.9	▲ 12.8	▲ 5.4	6.1
販売客単価	2.3	0.0	9.1	0.0	7.4	▲ 4.2	9.8	▲ 4.6	▲ 2.4	▲ 4.8	0.0	8.1	4.0
営業利益	▲ 14.0	▲ 7.5	▲ 2.3	4.9	▲ 24.4	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 16.7	▲ 5.1	▲ 5.4	8.1
見通し	7.0	▲ 5.0	4.5	0.0	▲ 4.9	8.5	▲ 4.9	0.0	0.0	▲ 4.7	2.6	8.1	6.1

### <経営者の目・見方・e t c>

自動車整備、  
板金塗装

・ガソリンが高騰傾向である。新年度が始まるとは思えないくらい車販売等の忙しさが感じられない。先進技術の車がどんどん出てくるが、買う側の立場からはなかなか手が出ない状態のような気がする。

不動産賃貸

・大学生の入学、企業の転勤でホームセンターの販売は活況であるが、当社の不動産賃貸は横ばいである。

獣医

・狂犬病予防法で人間に身近な動物である「犬」が人間への感染予防のためにも接種の対象となっている。4、5、6月は予防接種期間なので、集合注射や動物病院で接種してもらいたい。

観光旅館

・今年は残雪が少なく、小屋開けが順調に出来た。天候も今月中はおおむね良く、入れ込みも良かった。課題はサービス業の人手不足であるため、営業を多少縮小しなければならない場合も出てきて、対応に苦慮している。

写真

・例年より入学、入園記念写真、証明写真が多かった。

温泉旅館

・春と共に宿泊のお客も増加傾向である。今後とも松本市内のイベント等に期待したい。  
・基本的には外国人観光客が中心になっているが、日本人観光客にはあまり期待ができない。

旅館

・休館日を設けたので今後、対前年の売上は減少するが、経費削減のため、業況水準は横ばいである。

ホテル

・宿泊部門が好調に推移している。日曜日を除き、平日、週末ともに動きが良かった。インバウンドの問い合わせは昨年より減ってはいたが、催行率が高かったため、昨年並みの受注となった。  
・国内需要は伸び悩むも、インバウンドは好調をキープしている。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年と比べて婚礼件数を落としているため全体として前年比減となるが、宿泊、宴会については好調。披露宴会場検討者については昨年比8割弱と鈍いことが懸念材料である。</li> <li>・来年の春から夏にかけて新しいホテルのオープンが数カ所予定されているので非常に心配している。民泊との共存が出来るかどうかも不安である。</li> </ul>
リラクゼーション タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可もなく不可もない現状である。</li> <li>・冬季閉鎖されていた上高地線道路が4月17日に開通し、沢渡でバス、タクシーの出発式が行われた。今月は沢渡、上高地タクシー配車センターの開所作業を行い、観光シーズンに入った。</li> </ul>
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期が変わり、新しいテーマが入って来ている。</li> <li>・受注量は昨年ほどではない。</li> <li>・3カ月先は見えていない。</li> <li>・部品の入手に時間のかかる物がある。</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足は相変わらず深刻である。顧客企業もできるだけ予算消化が可能な今期中にという意図があるため、納期的にも厳しい依頼が多い。ただし、実際に運用が始まった新しいビジネスルールを後乗せでシステム化を考えるケースがあり、非常に困難である。商流変更とシステムの実装は一体のものという認識を持ってほしい。</li> </ul>
ホームクリーニング、リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油高が製造原価を押し上げているため、利益を圧迫していく傾向である。</li> </ul>
ペットサービス マナー講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今月より新体制がスタートしたが、人手不足が深刻である。</li> <li>・毎年4月は新人研修が入り、動きは良くなる。昨年と比べ、待遇研修への意識も向上し、今までに依頼のなかった業種からの多くの依頼を受け、必要性を感じている。</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今月から新学期が始まるのと同時に習い事をスタートさせたいという動きも高まる時期だと思う。新しい環境に慣れてからという人もいる事から春の時期の需要に期待したい。</li> </ul>
美容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式以降は落ち着いてくる時期と言われるが、前予約率80%であったため閑散期というのは特に関係なかった。</li> <li>・美容院の数は多いが代わり映えがしない。</li> <li>・世間の物価等が下がっているのか、単価を値下げしていかなくてはならない。</li> <li>・松本の景気をもっと良くなってほしいと感じる。</li> <li>・若いお客様に聞くと貯金が好きな人が多い。お金は使わないと回ってこないのに将来への不安で使えないようである。</li> </ul>
ネイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今月はネイリスト協会より2018年秋冬に向けて「MAUVE モーヴ」～遊び心と品格～というネイルトレンドが発表された。また来月のビューティーワールドのイベントに向けて、各メーカーより新商品がたくさん発表されている。</li> </ul>
測量、建設コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前からUAVは言われていたが、今月にきてドローン測量のセミナー、DM が頻繁になり、セミナーにも多数の測量会社が参加している状況である。今後、急速にUAVの導入が進むと思われる。</li> </ul>